



発行日 2018年 3月7日 50号
 発行 相原まちづくり協議会
 責任者 理事長 土田 恭義
 所在地 町田市相原町 597-56
 電話 042 (774) 2982

相原まちづくり協議会

検索

あいはらシャトル丸山団地号 実証実験運行

相原まちづくり協議会、町田市交通事業推進課で検討を重ねてまいりました相原小型乗合交通が、この度、丸山団地において「あいはらシャトル 丸山団地号」として、実証実験を迎える運びとなりました。今回の実証実験に伴い、丸山団地自治会においても特別委員会を立ち上げ、検討を重ねてまいりました。今回の実証実験の意義をご理解いただき、よりよい「あいはらシャトル」の実現に向けて、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

※この実証実験は、町田市が推進する「町田市便利なバス計画」に基づき、町田市内の交通空白地区の解消に向けた事業の一環として、道路運送法に基づき平成29年11月17日開催の「町田市地域公共交通会議」で正式に承認されて実施するものです。今回町田市で初めて相原地域で実施することになった背景には、2009年あいはら住民福祉協議会の「デマンド交通システム」の提言(2009年)並びに相原まちづくり協議会が実施したアンケート調査(2015年)等、地域の地道な取り組みが評価されたものです。

●運行期間 2018年2月1日(木)～2018年3月30日(金)

改正日：2018.2.1実施

●運行日 平日のみ(土曜・日曜・祝祭日は運休です。)

●運賃 現金200円均一

※未就学児は有料乗車1名につき1名まで無料です。

あいはらシャトル 丸山団地号 予定時刻表

●団地西 ⇒ いなげや東 ⇒ 相原駅西口(上り)

停留所/便	1	2	3	4	5	6
⑥ 団地西 発	8:45	9:45	10:45	13:20	14:20	15:20
⑤ 団地北 "	8:45	9:45	10:45	13:20	14:20	15:20
④ 団地中央 "	8:46	9:46	10:46	13:21	14:21	15:21
③ 団地入口 "	8:47	9:47	10:47	13:22	14:22	15:22
② 中村公会堂前 "	8:48	9:48	10:48	13:23	14:23	15:23
⑦ いなげや東 着	8:50	9:50	10:50	13:25	14:25	15:25
① 相原駅西口 着	8:54	9:54	10:54	13:29	14:29	15:29

●相原駅西口 ⇒ 団地西(下り)

停留所/便	1	2	3	4	5	6
① 相原駅西口 発	9:35	10:35	11:35	14:10	15:10	16:40
⑦ いなげや東 "	↓	↓	↓	↓	↓	↓
② 中村公会堂前 "	9:36	10:36	11:36	14:11	15:11	16:41
③ 団地入口 "	9:37	10:37	11:37	14:12	15:12	16:42
④ 団地中央 "	9:38	10:38	11:38	14:13	15:13	16:43
⑤ 団地北 "	9:39	10:39	11:39	14:14	15:14	16:44
⑥ 団地西 着	9:42	10:42	11:42	14:17	15:17	16:47

あいはらシャトル 丸山団地号 運行経路図



●乗車方法

- ・発車時刻までに、停留所へお越しください。(※予約制ではありません。)
- ・乗車時に乗務員へ運賃をお支払いいただくとともに、降車停留所をお申し出ください。
- ・満員の場合は続行便を運行します。 ※運行は飛鳥交通キャブ(株)が行います。

●問い合わせ先 町田市都市づくり部交通事業推進課 042-724-4260 (平日8:20~17:05)

第 20 回まちづくり講演会講演&座談会

『次世代に伝えたい明治・大正・昭和の相原』

2017年11月26日(日)JA町田市堺支店2階大会議室にて行われました。堺市民センターが改修中だった為今回は、JA町田市堺支店長 横山様のご厚意により会場をご提供頂き開催することができました。この講演会・座談会は相原の貴重な歴史、文化、先人の足跡を後世に伝承するアーカイブス活動の一環として行いました。当日は想定を大きく上回る140名以上の来場者があり座談会形式でなごやかな雰囲気の中、講演者の皆様が相互に情報を交わし合うなど、充実した話を聞くことができました。また相原の観光という視点から町田市の方針を伺いました。会場には相原まちづくり協議会が町田市文学館から譲り受けた八木重吉パネルの一部も展示しました。以下は講演と座談の内容を抜粋しました。



座談会の演題・青木家の足跡 青木 陽子氏(仲町)・多摩送信所 河内 一氏(大戸) ポツダム宣言受諾朗読 黒田 広子氏・暗渠排水 吉野 光章氏 (中相原)・諏訪神社 塩澤 一男氏 (丸山)・坂下商店街 落合 正之氏 (坂下)・相原の酪農 北島 一夫氏 (中相原)・相原の小字名 松日楽 正敏氏 (大戸) 進行・土田



青木 陽子氏 河内 一氏 黒田 広子氏 吉野 光章氏 塩澤 一男氏 落合 正之氏 北島 一夫氏 松日楽 正敏氏

そくせき

青木家の足跡

青木家の系図を見ながら説明して頂きました。

青木易直は木綿の着物をきて一汁一菜の食事をし、とても質素な暮らしをして村のために働いたと聞いています。青木正太郎は晩年に相原に来るまでは川崎に暮らし「川崎のおじいさん」と呼んでいました。川崎の屋敷には剣道の道場がありました。青木得庵は今の相原駅(当時駅はありませんでした)の東側で医院を開業して種痘を広範囲に広めました。

青木芳齊は坂下の境川傍で回春堂という医院を開業していました。この医院は終戦後も受け継がれ相原町の重要な医療機関でした。



青木易直 1797-1871

青木家7代目(中興の祖)領土建部家を盛り立て、建部家が普請奉行を務めた数々の建造物の監督を行った。長福寺の文殊堂や清水寺の観音堂に江戸の技を見ることができる。また徳川幕府の大奥よりお城下がりしたお中老と侍女を預かり清水寺を再興した。



青木得庵 1805-1866

青木易直の妹婿で青木家に入籍。種痘を広め天然痘撲滅に寄与。清水寺にある石碑「ジェンナー先生碑」は妻キクが得庵の功績をたたえ建立したもの。



青木芳奇 1831-1905

青木得庵の娘婿として入籍し、得庵と同じく種痘に携わる一方、銀行創設・金属活字の普及・英語塾開設・回春堂医院の開業 等数多くの業績を残している。明治32年堺村の初代村長に就任している。



青木正太郎 1853-1932

青木家9代目、易直の孫にあたる。自由民権運動家として有名。また現在の横浜線・京浜急行線・江ノ電等の鉄道事業に功績を残す。衆議院議員を経て京浜急行の社長を23年務めた。その間世界恐慌時には私財をなげうって京浜急行を守り抜く。川崎大師境内にある青木正太郎寿碑は喜寿を祝い建立されました。

多摩送信所



場所は法政大学の敷地内です。昭和20年8月10日御前会議でポツダム宣言受諾を決定し同日ポツダム宣言受諾の電波が多摩送信所より世界へ発信されたとされています。・中立国のスイス、スウェーデンの公使経由で連合国(アメリカ・イギリス・支那)に通達されました。戦争の終結を世界に向けて発信したのが多摩送信所です。多摩送信所はポツダム宣言受諾の際に重要な役割をはたした場所とされています。

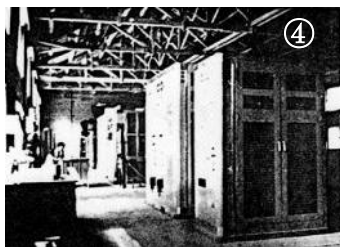
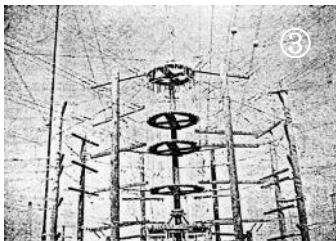
昭和12年日本は東京から満州へケーブルを繋ぎ直通電話を引きました。町田街道から大地沢を通

り甲州街道へそして満州まで引いた電話線を町田街道にある中継所から送信所へ引き込んでいました。

送信所のアンテナはコンクリートの台座に太さ30cm位の丸太の束を互い違いに組立て高さは60mありました。一番下は直径で1m以上頂上の直径は30cmほどあり、それを17本、地区の子供も動員して組み上げました。技術者は栃木県からきて近所の農家の家に泊っていました。ポツダム宣言受諾の電文内容を黒田 広子氏が読み上げ当時を身近に感じることができました



現在の多摩送信所跡の記念碑①日本と満州が電話線で繋がった記念のカード②アンテナと内部の発信機当時の遠景③と発信器④ 当時の建物⑤と 放送室 宿舎⑥



受諾の電文（朗読）※瑞西（スイス） 瑞典（スウェーデン）

在瑞西 加瀬公使 在瑞典 岡本公使

東郷大臣

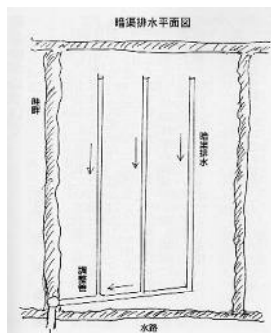
暗合第 647 号（緊急）

三国宣言受諾の件（未電）

戦争の惨禍より人類を救わんとする大御心に副い奉らんが為帝国政府は瑞西国政府及び瑞典国政府に対し別電合第 648 号（右英訳文別電第 649 号）の通り帝国政府の意図を主要交戦国に対し伝達方依頼する一方在京ソ連大使を通し直接ソ連政府に対し右趣旨を伝達することに決定せり

就いては在瑞西公使よりは米国政府及び支那政府に対し在瑞典公使よりは英国政府及びソ連政府に対し最も速やかに右伝達方並びに相手方の速答を得る様斡旋方夫々任国政府に対し申し入れられ結果大至急御回電相なり度本電及び別電あて先 在瑞西公使、在瑞典公使

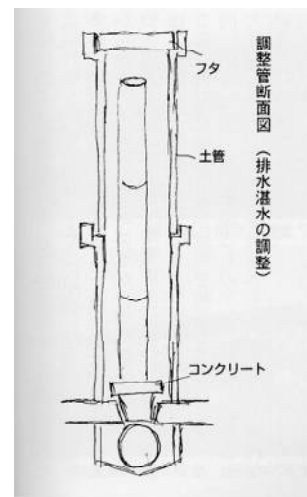
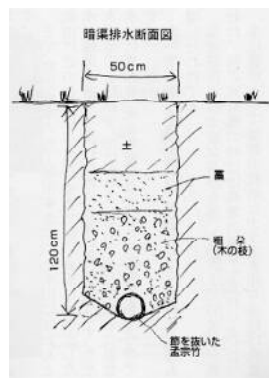
暗渠排水



およそ 50 年前相模原の二本松には一軒の家もないそんな時代の話です。真米地区(相原十字路から八王子に向かう道路沿い)の畑はあちこちから水が湧き出しドブツ田と言われていました。お米の収穫時には田んぼから水を抜いてしばらく

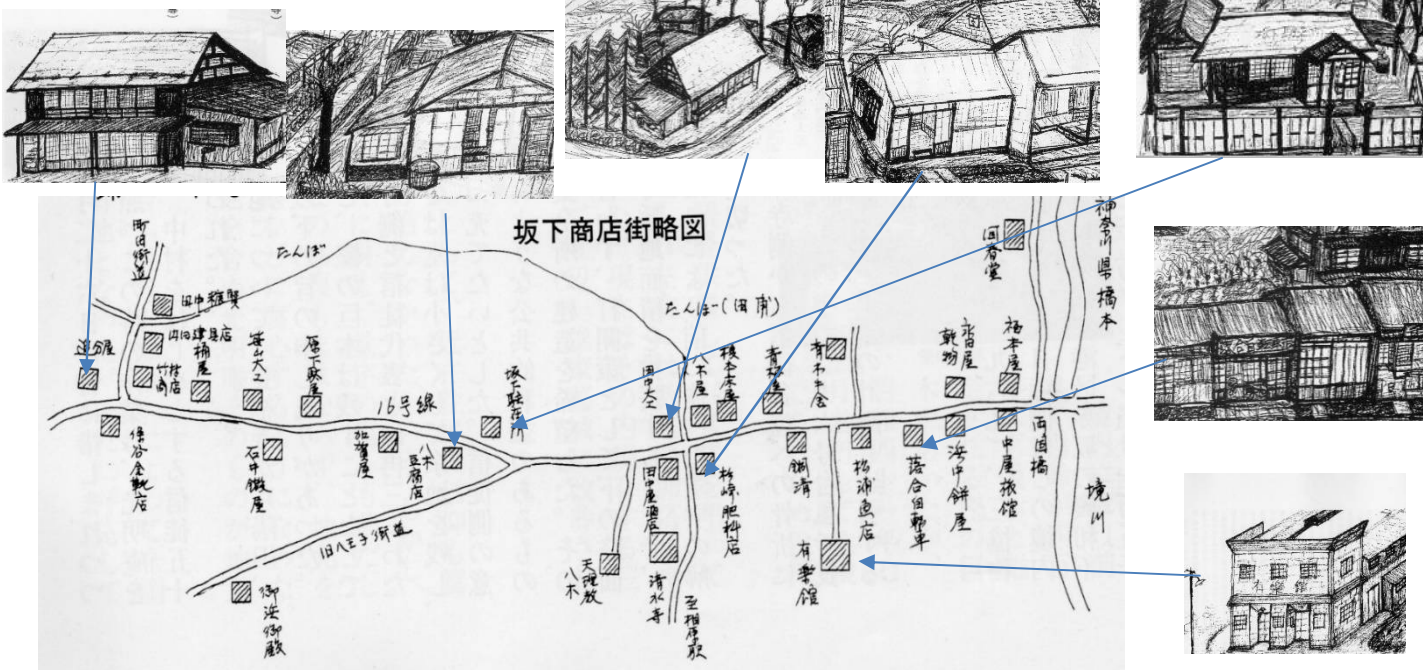
置き実らせ稲刈りをします。しかし水が多すぎて思うような収穫がありません。そこで東京都とともに暗渠排水事業に取り組みました。節を抜いた孟宗竹を下に並べ上にモヤ(木の枝を束ねた物)被せ、その上に藁を敷いて土を被せる。腰まで浸かるほどの泥沼ですから大変な作業でしたが、孟宗竹をつたいきれいな水が境川へと流れ。2年ほど経つと田んぼが乾くようになり、コメの収穫ができるようになり、終わると、田んぼを耕し冬作の

大麦などを植えられるようになりました。この事業が成功しなければゴルフ場や東京家政学院大学は作れなかったでしょう。先輩たちが暗渠排水という土地改良に取り組んだ結果、今の真米の環境があります。現在は 30 数名で真米の歴史を守る活動しています。



暗渠（あんきょ）排水断面図、暗渠（あんきょ）排水平面図、調整管断面図

坂下商店街



前頁の略図は現在の国道16号線とは少し違い道路は旧道です。町田街道も現在のように直線ではありません。昭和20年当時坂下には地域の有志により大正末期に建てられた有楽館という映画館(活動写真)がありました。また追分屋(休憩所) かな靴屋(馬の蹄鉄を作っていた) 鍛冶屋 加賀谷屋(呉服屋) 豆腐屋 駐在所 大工 酒屋 魚屋 乾物

屋 ブリキ屋 牛舎 中屋旅館(富山の薬屋定宿) 等々 馬車や荷車、物と人が行き交う交通の要所であり、観音堂の縁日には大変に賑わっていました。近隣の地域にとって無くてはならない場所であったことがわかります。(イラストは相原保善会監修の明治・大正の頃の相原より)

諏訪神社

諏訪神社は836年前、別当高岳坊長温が氏子ととも



もに下諏訪大社を丸山の地に勧請し、相原山明神と称しました。神社には建御名方命(たけみみなかたのみこと) 天之御中主命(あめのみなかぬしのみこと) 安閑(あんかん)

会費を以って神社の経営を行い 昭和55年7月氏子会会員の浄財により社務所が完成しました。また平成の大改修では地域の皆様や工事関係者の方々に大変ご協力頂き御礼申し上げます。神社では年間7つの神事と初詣、節分、七五三等の行事を行っています。是非お越してください。

(写真右下は丸山獅子舞奉納400年記念奉納の様様)



天皇(てんのう) 大己(おおな) 貴命(むちのみこと) 少彦名命(すくなひこなのみこと) 宇伽之魂(うがのみたま) 命(みこと) の6つの



神様が祀っております。402年前、山火事の為社殿を焼失しましたが2年後、高岳坊長巖により再建し獅子舞の奉納が始まりました。昭和51年氏子会を結成し、

相原の酪農

酪農の歴史は徳川吉宗が1614年に千葉県の嶺岡(千葉県南房総市大井地区の丘陵地帯の総称)にイギリスから牛を輸入したのが始まりと言われています。相原では坂下の田中清三郎さんが一番古い酪農家です。最大消費地の東京に近いので、堺村では南多摩畜産組合209戸のうち74戸の酪農家があり、丸山地区は酪農銀座と呼ばれていました。当時は絞った牛乳を井戸水に浸けて集荷場に集め東京に運んでいましたが、昭和2年には「南多摩郡牛乳販売組合」が併設され、そして昭和3年には「牛乳共同搾乳処理所」が相原に建設され、朝と夕方に時間をきめて乳牛をそこに連れていき、搾乳した牛乳を直接冷蔵庫で冷やしておく施設ができ、東京オリンピックなどにも届けられました。昭和45年頃



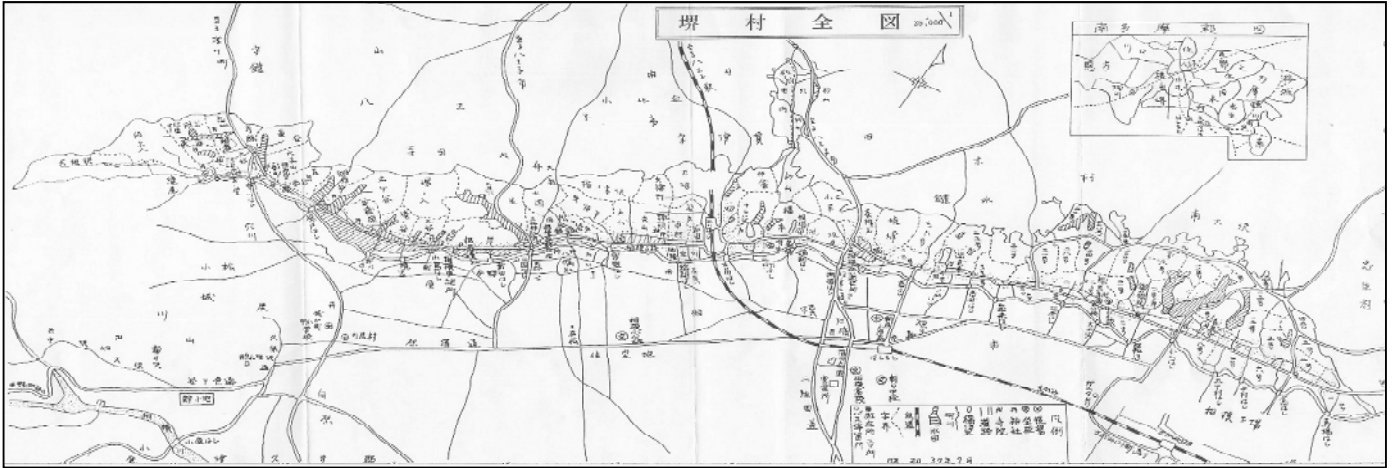
昭和20年代の牛

になると多頭化(多くの頭数を飼う)の流れから酪農の場は地方へと移ってゆき、現在では3~4軒となってしまいました。(写真はほぜんかい2号より)

相原こあざめいのあざ小字名

地租改正時の地図を参考にして説明されました。明治には相原にあざ字数が47あり小字は400から500あるのではないかと考えられます。小字はその村々の中の細かい地形、集落、耕地等を指す地名です。これをよく調べると民族学的にも相原

の景観が分かる貴重な資料です。(添付の地図は『堺村誌』に付属でついている地図ですが、60年前に作られたもので字の名称はほぼ明治時代と同じと考えられます。



「町田市観光まちづくり基本方針について」

町田市経済観光部産業観光課担当課長 中村 考[□] 志様



町田市観光まちづくり基本方針は2017年から2030年の14年間で、地域住民が愛着の持てる町田ならではの地域素材を洗い出し、市民全体で来訪者をおもてなしする体制づくりをして、市内外の人に魅力を伝え多くの人々が訪れたい街、住みたい街を目標にしています。町田市の中でも相原地域はポテンシャルが高い地域と思われます。観光に対するニーズの変化は相原地域にとってチャンスと考えます。

町田市都市づくり部地区街づくり課課長 平本 一徳様

相原の活性化につながる観光資源を模索して頂き大変興味深い話を聞くことができました。町田市の街づくり条例の基本理念は 市民 事業所 行政で連携し住民主体のまちづくりに取り組んでゆくことです。相原の住民の皆様の活気ある活動に、町田市としても置いて行かれないようにこれまで通り共同で街づくりに取り組んでまいります。

第2回相原中央公園さくらまつり開催決定

4月7日(土) 10:00~20:00

相原中央公園 さくらの丘 (写真は今年の竹灯籠)

模擬店・竹灯籠・行燈・BBQスペースあり



『あいとぴあ50号』に寄せて
相原まちづくり協議会理事長 土田 恭義

相原まちづくり協議会の地域情報誌『あいとぴあ』が1996年4月に創刊されてから本号にて50号を迎えることができました。その間、本誌では、JR相原駅新駅舎、相原中央公園、こどもセンターばお、相原駅西口広場、そして大戸踏切立体化事業と相原駅周辺整備等について、地域の皆様に情報提供してまいりました。近年はカラー版とし、より見やすい紙面を提供できるようになりました。これからも地域にお役にたつ情報誌としてホームページと併せ発信してまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。